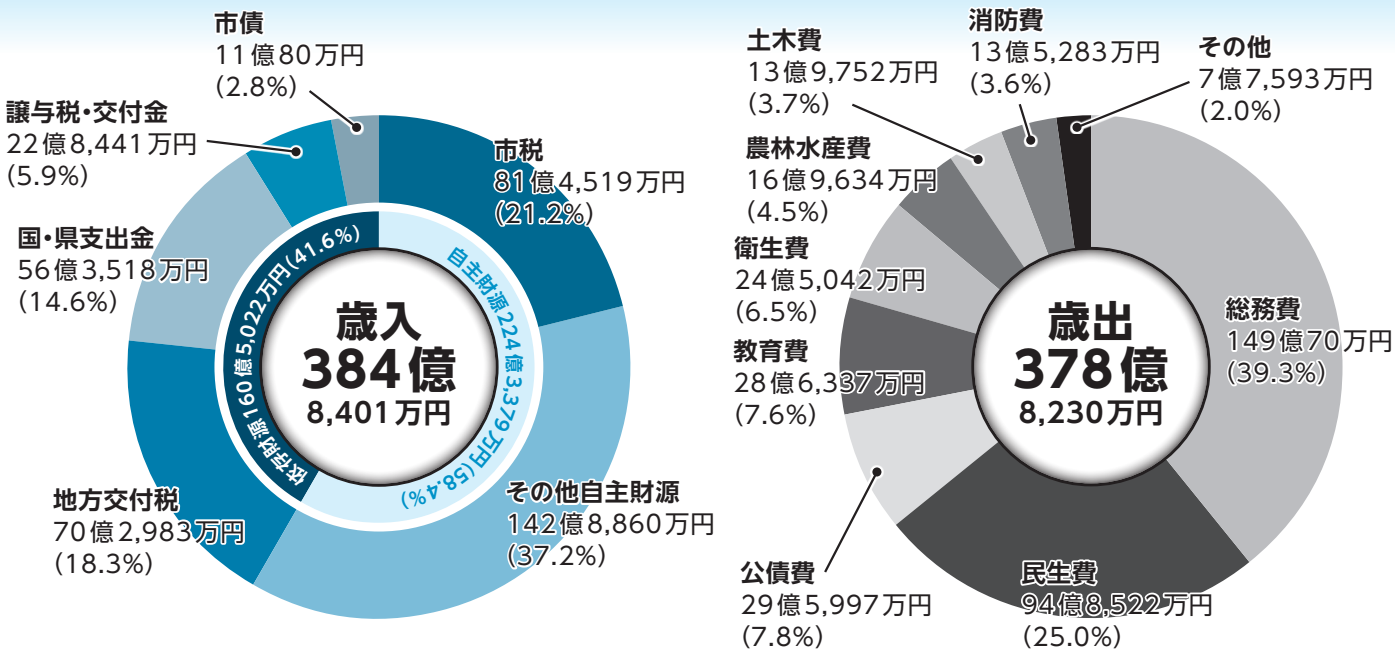
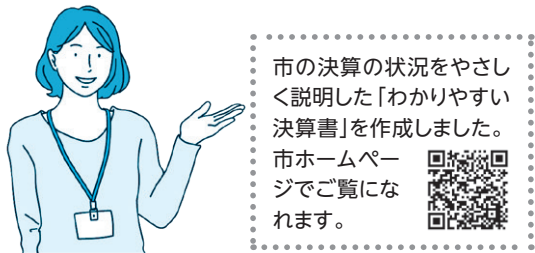


一般会計 福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。



歳入と歳出の差額はどうするの？

翌年度事業の財源に使われるほか差額の1/2以上は財政調整基金(自由に使える市の貯金)に積み立てられます。令和7年度末の財政調整基金残高は29億4,588万円となっています。



市の決算の状況をやさしく説明した「わかりやすい決算書」を作成しました。市ホームページでご覧になれます。

用語の説明

総務費…財産管理、税金の事務、ふるさと納税の積立などに使われるお金
民生費…障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金
公債費…市が借り入れた借金などの元利償還金
教育費…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに使われるお金
衛生費…ごみ処理、環境保全、予防接種などのために使われるお金

公営企業会計 地方公営企業法が適用される事業として区別されます。水道事業・病院事業・下水道事業を行う会計です。



企業会計名		収入	支出
水道事業	収益的収支	22億8,850万円	22億4,770万円
	資本的収支	2億3,478万円	8億2,842万円
病院事業	収益的収支	8億8,482万円	9億2,867万円
	資本的収支	1億3,100万円	3億1,596万円
下水道事業	収益的収支	16億754万円	15億2,983万円
	資本的収支	9億3,924万円	14億4,771万円

※資本的収支の差は、各企業会計で留保している資金で対応しました。

特別会計 特定の収入で特定の事業を行うとき、その収支を明確にするために設置する会計です。



区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	71億7,942万円	70億6,234万円
介護保険事業	68億7,942万円	68億2,086万円
後期高齢者医療事業	10億6,984万円	10億6,448万円

令和7年度一般会計の決算の内容は？ 図 財政室 ㊦(24) 8926

決算

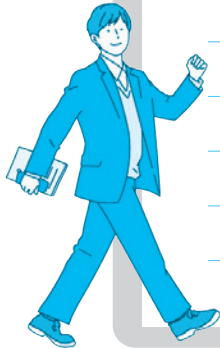
令和7年度は、約4億円の黒字を確保することができました。市の貯金(財政調整基金)は約29億円まで積み上がりましたが、今後も安定した財政運営をするためには、一定程度の財政調整基金を常に維持する必要があります。ふるさと納税などを有効活用し、地域産業の活性化や子育て支援の充実など将来への投資も進め、人口減少などの地域課題の解決を図っていきます。

銚子家(市)の家計簿

年収770万円の家計に例えると…

収入		令和6年度と比較して…	支出		令和6年度と比較して…
現金収入合計	664万円	(126万円)	生活費合計	437万円	(61万円)
給料(市税)	163万円	(9万円)	食費(人件費)	114万円	(4万円)
親からの援助(地方交付税、譲与税・交付金、国庫支出金、県支出金)	299万円	(21万円)	医療費(扶助費)	115万円	(3万円)
パート収入(諸収入、使用料・手数料)	39万円	(8万円)	光熱水費など雑費(物件費、補助費等)	205万円	(55万円)
お年玉(寄附金)	141万円	(87万円)	家、車などの修理代(維持補修費)	3万円	(△1万円)
ローン(借入金)(市債)	22万円	(1万円)	親せきへのお年玉(投資及び出資金)	2万円	(△1万円)
貯金の取り崩し(繰入金)	97万円	(42万円)	子どもへの仕送り(繰出金)	54万円	(1万円)
繰越金(繰越金)	9万円	(0万円)	ローンの返済(公債費)	59万円	(△3万円)
			家の小規模改築(普通建設事業費)	28万円	(1万円)
			貸付(貸付金)	4万円	(△4万円)
			貯金(積立金)	174万円	(110万円)
収入合計	770万円	(168万円)	支出合計	758万円	(165万円)
			余り	12万円	(3万円)
貯金残高	170万円	(77万円)	ローン残高	400万円	(△35万円)

上手くやり繰りしないと



ものものしきのために貯金しなくちゃ



市債現在高

市の借金

市債の令和7年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で327億6,884万円。地方交付税に算入される額を除くと、市の実質負担額は150億1,854万円で、全体の45.8%となっています。

会計名	令和7年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市の実質負担額(1)-(2)	市の実質負担割合
一般会計	200億127万円	135億3,841万円	64億6,286万円	32.3%
水道事業会計	46億7,725万円	2億3,679万円	44億4,046万円	94.9%
病院事業会計	6億5,590万円	2億8,349万円	3億7,241万円	56.8%
下水道事業会計	74億3,442万円	36億9,161万円	37億4,281万円	50.3%
合計	327億6,884万円	177億5,030万円	150億1,854万円	45.8%

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

実質公債費比率は県内54市町村中、54位と最下位、将来負担比率は36位です。依然として、厳しい財政状況が続いています。

▶病院事業は資金不足(0.6%)に該当しましたが数値は経営健全化基準の範囲内です。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.72%	20.0%
▶一般会計の赤字割合	—	12.72%	20.0%
連結実質赤字比率	—	17.72%	30.0%
▶市の全ての会計の赤字割合	—	17.72%	30.0%
実質公債費比率	12.9%	25.0%	35.0%
▶借金の返済がどれ位負担になっているか	12.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	18.2%	350.0%	基準なし
▶将来世代にツケを先延ばししていないか	18.2%	350.0%	基準なし